

(54) FRAGRANCE-FILLED ACCESSORY

【CLAIM】

1. A fragrance-filled accessory comprising:
  - a cover provided on a body of said accessory, said cover being provided so as to allow it to be freely opened or closed by way of a hinge;
  - a hole provided on said body or on a part of said cover, said hole being covered with a mesh: and
  - a fragrance housed inside a space formed in at least one of said hinge and said cover, said fragrance being replaceable.

【INDUSTRIAL APPLICABILITY】

The present idea relates to fragrance-filled accessories such as a locket, an earring, a hairpin, a tiepin and a cuff button.

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-48714

⑬ Int. Cl. 1

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)4月5日

A 44 C 25/00

A-7150-3B

A 44 B 5/00

7149-3B

6/00

7149-3B

9/08

7149-3B

A 45 D 8/00

7715-3B

34/02

6671-3B

審査請求 有 (全 頁)

⑭ 考案の名称 芳香剤入り身回装飾品

⑮ 実 願 昭58-139039

⑯ 出 願 昭58(1983)9月9日

⑰ 考 案 者 向 後 彬 東京都文京区向丘1-20-6 ファミール本郷1010

⑱ 出 願 人 向 後 彬 東京都文京区向丘1-20-6 ファミール本郷1010

⑲ 代 理 人 井理士 滝野 秀雄

明 細 書

1. 考案の名称

芳香剤入り身回装飾品

2. 実用新案登録請求の範囲

本体にヒンジを介して蓋を開閉自在に設け、前記本体又は前記蓋の一部に孔を設けて該孔をメッシュにて塞ぐとともに少なくとも前記ヒンジ又は蓋に形成される収容空間部の内部に芳香剤を交換可能に収容することを特徴とした芳香剤入り身回装飾品。

3. 考案の詳細な説明

この考案は内部に芳香剤を入れたロケット、イヤリング、ヘアピン、ネクタイピン、カフスボタン等の身回装飾品に関する。

従来、ロケット、イヤリング、ヘアピン、ネクタイピン、カフスボタン等の身回装飾品は装飾品本来の使命として外観的に美しく見映えがするように製作され、各々の用途毎に使用されている。例えばロケットはその外形を斬新な形状に形成するほか、製作材料として貴金属を使用したり又は

この代用としてのメッキを施こしたり、着色を施こすかして製作されているのが通常であり、高価なものは宝石を装着したものもある。またロケットの構造はヒンジを介して本体に蓋を開閉自在に設け、内部空間部に写真を収納し、鎖により首に吊り下げようとしているのが一般的である。しかしこの従来のロケットは外観的に美しく装飾を第1義としたものであった。

本考案は上述の如き点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは装飾に限らず芳香剤を交換可能に内部に收容して身に付けるようにした芳香剤入り身回装飾品を提供するのにある。

以下本考案を第1図乃至第3図に示すようなロケットに応用した場合を一実施例として説明する。

1は本体であり、2はこの本体1に対してヒンジ3を介して開閉自在に取付けられる蓋であり、4はのせこであり、こののせこ4は例えばプラスチックで形成されて表面には多種の色彩を用いて適宜の模様や図形が描かれたり、或いは彫刻等、浮き彫り模様が形成されて前記蓋2の前面に形成




された窓孔 2 a 内に嵌着されている。前記本体 1 および蓋 2 は例えば中央断面形状が皿状で正面形状が例えばハート形に形成されて内部には收容空間部 5 が形成されている。また前記蓋 2 は例えばハート形にプレス成形された基板 6 に同じくハート形の枠 7 をロウ付けして形成され、また本体 1 もハート形の基板 8 を枠 9 にロウ付けして形成されている。1 a は前記本体 1 の裏面に設けられた孔であり、1 0 は裏面から前記孔 1 a を塞ぐメッシュであり、このメッシュ 1 0 は例えば前記本体 1 と調和した色に着色されている。1 1 は前記メッシュ 1 0 の網目よりもやや大径の小粒径に形成された芳香剤であり、この芳香剤 1 1 は公知の種々のものが用意され、それぞれの種類に応じて多種の色彩が着色されている。

2 b は前記蓋 2 の裏面に形成された係合突子であり、この係合突子 2 b はヒンジ 3 を介して前記本体 1 に対して蓋 2 を閉めた際に本体 1 の前面に形成された枠 9 の内周縁に係止されることにより前記本体 1 に対して蓋 2 は確実に閉められるよう

になっている。なお12は首に吊り下げるためにロケットに装着された鎖である。

本考案の一実施例は上述のような構成からなり、本体1と、この本体1にヒンジ3を介して開閉自在に取付けられた蓋2とから形成される收容空間部5内に小粒径の多数の芳香剤11を詰め込んでいるので、この芳香剤11の芳香は本体1に設けた孔1aから放たれてロケットの外部に放出される。従って体臭を紛らすことができる。この場合、芳香剤11を小粒径に形成したのは、本体1と蓋2とで形成される收容空間部5の形状変化に適合して多数の芳香剤11を詰め込む際の交換をし易くするためと、芳香剤11がロケット内部で転動し易くなるので孔1aを通じて新鮮な外気に触れ易くして芳香の放散効率を高めるためである。また芳香剤11はメッシュ10を通して孔1aから見え、しかも芳香剤の種類に応じた着色が施こされているからロケット自体の外形、着色等と調和して見映えがするとともに、使用者の好みに応じた芳香剤11を一瞥して選択できる。



なお上記実施例では蓋 2 にのせこ 4 を嵌着しているがこれに限らずに蓋 2 を透し模様としてこの透孔をメッシュで塞いでもよい。またこの実施例では本体 1 と蓋 2 とをともに金属で形成しているけれどもこれらをプラスチックを用いて形成することももちろんできる。プラスチックで形成した場合にはヒンジは本体と蓋に比較して薄肉にすれば容易に形成できるほか、製作も量産化向きでコストも低廉になる。しかも上記実施例ではロケットを代表的な実施例としているけれども本実施例はこの外にもイヤリング、ヘアピン、ネクタイピン、カフスボタン、キー・ホルダー等の身回装飾品にも容易に応用できる。

上述のように本考案は本体にヒンジを介して開閉自在に設けた装飾品の一部に設けた孔をメッシュで塞ぐとともに内部の收容空間に芳香剤を交換可能に收容したものであるから、装飾品本来の使命として外観上、体裁が良いとともに身に付けたり、携行の際に芳香を放つ利点がある。

#### 4. 図面の簡単な説明



第 1 図は本考案の一実施例の身回装飾品を開いた状態の斜面図、第 2 図は同じく断面図、第 3 図は本実施例を構成する係合突子の一例を示した断面図である。

1 …… 本体、1 a …… 孔、2 …… 蓋、3 …… ヒンジ、5 …… 収容空間部、1 0 …… メッシュ、1 1 …… 芳香剤。

実用新案登録出願人

向 後 彬

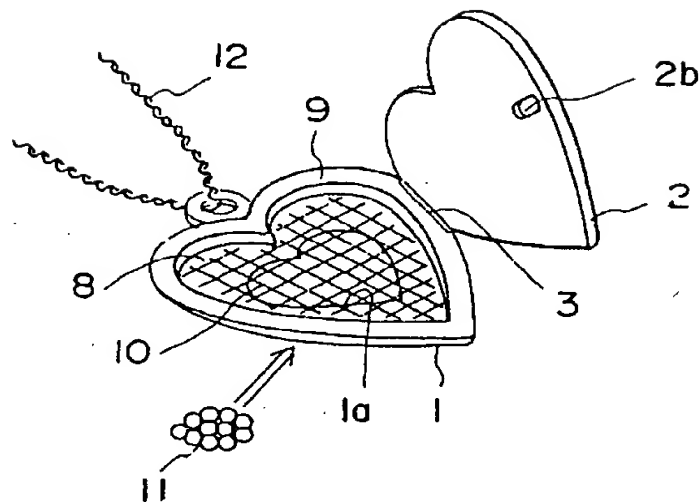
代 理 人

瀧 野 秀 雄

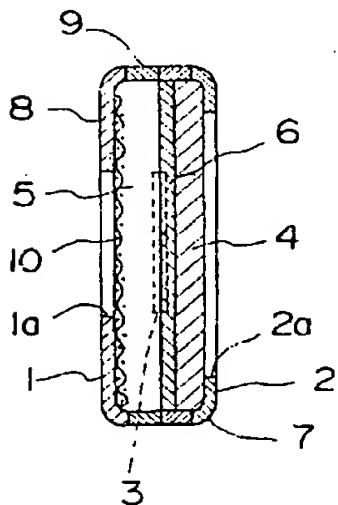




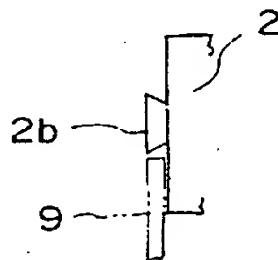
# 第 1 圖



## 第 2 圖



## 第 3 圖



153

實用新案登録出願人 向 後 林  
代 理 人 瀧 野 秀 雄

実開 60-48714